



プレオルソ治療のすすめ

4歳から出来る
予防矯正



はじめに

こどもの歯ならび矯正法 「プレオルソ」

私自身矯正治療の経験者です。小学6年生から矯正治療を行いました。
小学6年生といえばほぼ、永久歯の生え替わりが完了する時期です。その時期から始めた矯正治療は歯をきれいに並べるために健康な歯を2本抜きました。矯正治療は約4年間高校1年生まで続けました。固定式のワイヤー装置を装着した為、食事のたびに食べかすが溜まりやすく、むし歯にならないように歯ブラシにも気をつかいました。また、月に1回のワイヤーの調整をするたびに歯に力がかかり痛みを伴いました。いま思えば辛い治療でした。

そして、私には2人の娘がいます。2人の娘も子供のころから矯正治療をしましたが、固定式の装置を口に入れ大変であったこと、歯を動かすのに時間がかかったこと、下の娘は私と同じ歯を抜く事になってしまいました。複雑な装置を使うので費用も掛かってしまいます。
いまであれば、第一選択はプレオルソだと思います。

願わくは、この冊子を通じて、子育てするお母さんにお子様の健全な顎の成長を促し、正常できれいな歯並びを手に入れることができる「プレオルソ矯正法」を知っていただき、役立てていただければ幸いです。

医療法人社団AOD 落合歯科医院
落合明子

 PREORTHO
プレオルソ



歯ならびチェックシート

当てはまるものにチェックしてみましょう

-  乳歯の前歯にすき間がない、または重なっている
-  ポカンとお口をあいている事が多い
-  お父さんお母さんが歯並びが悪い、矯正治療をしたことがある
-  食事の時余り噛まない
-  食べる時にくちゃくちゃ音がする
-  唇がかわいてカサカサして切れやすい
-  指しゃぶりをしている
-  発音しにくい言葉がある
-  お話をしている時に舌が歯と歯の間に出てくる事がある
-  爪や唇をかむ癖がある



1つでも当てはまったお子様は、将来歯ならびが悪くなる可能性があります。

歯ならびが悪いことによる影響

むし歯



歯周病



内向的な性格



口呼吸



姿勢悪化



風邪
アレルギー疾患



プレオルソ 矯正法とは

実用的な80%の 「歯ならび」と「咬み合わせ」を目指す治療法

プレオルソは、従来の固定式のマルチブラケット装置で治す100%の治療でなく、実用的な80%の「歯ならび」と「咬み合わせ」を目指す治療法です。

矯正治療は、主に1期治療と2期治療に分けることができます。

1期治療（3歳～12歳ころ）とは、乳歯と永久歯が混在している時期での治療のこと、
2期治療（12歳ころ～成人）とは、生え揃った永久歯全体のかみ合わせを整えるために
行う治療です。

プレオルソ矯正法は、1期治療にあたります。

プレオルソ対応症例

出っ歯

横から見た時に
上の歯が出ている

凹凸

4人掛けの椅子に
6人座っている状態

受け口

横から見た時に
下の歯が出ている

深い咬み合わせ

上の歯が下の歯に
覆いかぶさっている

顎の骨の成長を促す治療に重点を置く1期治療を行うメリット

顎の発育が良くなる

顎の成長を促す治療は、永久歯の歯並びを整えるだけでなく、適切なかみ合わせでしっかり
噛める永久歯の整った歯並びにもつながります。

2期治療にかかる時間が短くなる

早めに1期治療を行うことで、顎の健全な成長を促すことにより、2期の治療が短くすむことも
あります。また2期の治療自体が不要になることもあります。

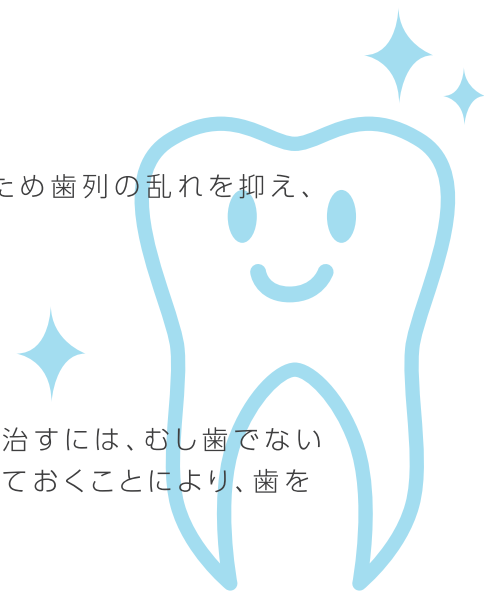
永久歯が理想的な位置に生えやすくなる

顎のスペースを広げることにより理想的な位置に永久歯が萌出するため歯列の乱れを抑え、
自然できれいな歯並びを獲得することができる。

抜歯せずにすむことがある

不正咬合は、歯の大きさとあごのバランスが崩れた時に起こります。

顎のスペースが小さいことによる歯並びの乱れを、大人になってから治すには、むし歯でない
歯を抜いてスペースをつくる場合があります。1期の治療で顎を広げておくことにより、歯を
抜かずにきれいに並べられる可能性を高めることができます。



症例1 重度の深い咬みあわせ



初診時 7歳4ヶ月 男の子

前歯の咬み合わせが気になり来院。プレオルソタイプIで治療開始。左右中切歯の正中離開が改善し、下の前歯が見えてきて約8ヶ月で咬み合わせが改善しました。



症例4 前歯の凸凹



初診時 8歳 男の子

凸凹の歯ならびが気になり矯正開始。プレオルソタイプIの使用によりアゴの成長が促され歯列の並びがV型からU型に前歯の凸凹が1年2ヶ月で改善。ハードタイプへ移行し治療中。



症例2 前歯のすき間をとまなう受け口



初診時 7歳11ヶ月 女の子

前歯のすき間と受け口を気にされ、プレオルソタイプⅢにて治療開始。8ヶ月で前歯の咬み合わせとすき間が改善。夜のみ装着を行い経過観察となりました。



症例5 重度の前歯の凸凹



初診時 7歳7ヶ月 女の子

下顎前歯二本が生えるスペースがなく舌側から萌出てきたため、プレオルソタイプIで治療開始。約10ヶ月で本来の場所まで移動したが凹凸が改善していないため継続治療。



症例3 前歯が1本逆に咬んでいる(逆被蓋)



初診時 8歳11ヶ月 男の子

右上前歯の咬み合わせが気になり、プレオルソタイプⅢにて治療開始し。1ヶ月で前歯の咬み合わせが改善。前歯の凸凹を、3～4ヶ月後にプレオルソタイプIにて治療予定。



症例6 咬み合わせが深い受け口



初診時 5歳4ヶ月 男の子

前歯の受け口が気になり来院。上顎の骨の劣成長および下顎の骨の過成長により乳前歯の咬み合わせが反対になっている。プレオルソタイプⅢで治療開始。約3ヶ月で改善。



プレオルソ 装置について

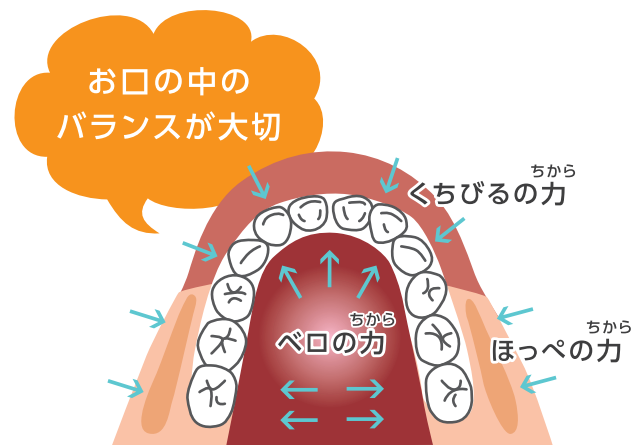
プレオルソ装置とは

この装置は、「歯を直接動かす」のではなく、歯並びを悪くしている原因(口のまわりの筋肉)を改善することで「間接的に歯並びを改善」していく装置です。

歯は適当に生えて並ぶのではなく、「舌・頬・唇の筋肉」のバランスに合わせて並んでいきます。つまり、この口周りの筋肉のバランスが悪ければ歯並びは悪くなり、バランスが良ければ理想の位置に並んでいきます。プレオルソを正しくお口に入れることで自然と口周りの筋肉を訓練しバランスを調整しながらその結果、歯が正しい位置に並んでいくことになります。

歯並びは舌や唇など口のまわりの筋肉のバランスによって生え並べできます。つまり、どんなに無理に歯並びだけをキレイにしようと思っても、舌・唇・頬の筋肉のバランスがとれていないと、再びゆがみが生じてくる可能性があります。

歯だけを並べるのではなく歯並びを悪くしている原因を改善することができるので後戻りも少なく、痛みなども少ないです。



プレオルソ装置の特徴

柔らかい素材

弾力性があるため、
壊れにくい装置です

プリフォーム(既製品)

歯型を取る必要がなく、
お子さまの負担が少ない

取り外しが簡単

食事や歯みがきは普段通り、
衛生的でむし歯の心配も少ない

治療費が安価

既製品なのでコストが
かからない

鼻呼吸へ促せる

悪影響のある口呼吸を
改善できる

負担の少ない装着

「家にいるとき最低1時間」
「寝ているとき」だけ!

使用の仕方

プレオルソの使い方は簡単。日中最低1時間と寝ている時にのみ装着をします。ポリウレタン性で柔らかいのですが、筋肉トレーニングの要素がありますので、使用開始時には違和感が強かったり朝起きると疲れを感じたりするお子様もいます。また夜間の口呼吸防止とトレーニング効果促進を目的として、寝ている時はお口テープをして使用を行います。

口呼吸のデメリット

- ✓ 風邪(アレルギー疾患)をひきやすい
- ✓ 歯並びや顔の形にも影響
- ✓ 睡眠を妨げる
- ✓ むし歯、歯周病、口臭の原因
- ✓ 酸素の摂取量が少なくなる



プレオルソの対象年齢

プレオルソは、4歳から9歳ころまでが対象年齢です。
永久歯が生えてくる前に、永久歯が並ぶべき顎の骨の成長を促す装置だからです。
矯正という名前がついていますが、ワイヤーの力で歯が勝手に動いていく矯正とは違い、
メインとなるのは、舌、唇、頬の筋肉の機能訓練になります。

使用時の注意事項

取り外し可能な装置なので使用時間をきちんと守らないと効果が現れません。
慣れないうちは、違和感、多少の痛みがある場合もありますが
何回か調整することで問題なく使用することができます。



プレオルソはお子様の負担も少なく、
お口の周りの筋肉や機能を正しい方向へ導くことのできる矯正治療です。
お子様本人が毎日プレオルソを使うのは勿論ですが、
適切に使えるようにご両親の声かけが必要不可欠です。

この機会にお子様の歯並びについて考えて見て下さい。